



バリアフリーとは、障がいをお持ちの方や高齢者の方のために、生活の障壁となるものを削除を行うというものです。

一方、ユニバーサルデザインは、最初から多くの方に使いやすいものを作る設計方法として発案されました。

これだけの説明では、「？」だと思います(私もよくわかりませんでした)ので1つ例を挙げさせていただきます。

建物玄関前の段差について注目します。玄関前にある段差にスロープを付けるのはバリアフリーの考え方です。一方、ユニバーサルデザインでは、設計時点からスロープを計画し作りあげる事となります。しかし、どうでしょう。完成した入口は全く同じ形状なのです。これが混同しやすい理由なのかもしれません。

「多くの方に使いやすいものを作ってあげよう」というユニバーサルデザインの思想には『心のやさしさや思いやり』があります。また、「障害者、高齢者等が安全に円滑に利用できるだれもが住みよい福祉のまちづくり」を行うバリアフリーにも『心のやさしさや思いやり』があります。

この共通する『心のやさしさや思いやり』の精神は、「すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の心の育成を目指す」福祉のこころの育成に通じているのだと思います。



職員から✽今号は、やすだ相談員

みなさまこんにちは！ふらっとで障がいの相談員をしております やすだです。

私ごとですが、最近、“美”を学ぼうかと思っています。“美”と言っても、容姿ではなく“言葉”です。美しい日本語について最近、本屋さんでも目にする事が多くなりました。大和言葉など聞いたことはありませんか？使い慣れていないため普通の会話では使いづらいものもありますが、一つ一つの言葉や発音された音が柔らかく、なんだか落ち着きます。最近、オールマイティな言葉になっている“やばい”。怖いときにも楽しいときにも、おいしい時にも まずい時にも・・・ いつでも使える楽な言葉になっていますが、それぞれの場面で表現できる素敵な日本語があります。私も“やばい”とつい口にしてしまいますが、これからは語彙力をあげて、聞きさわりの良い言葉で話せる素敵な女性になれるよう努力をしていきたいと思っています。

来年度もよろしくお願ひします♪